

第2回 長安ロダム改造事業等監理委員会

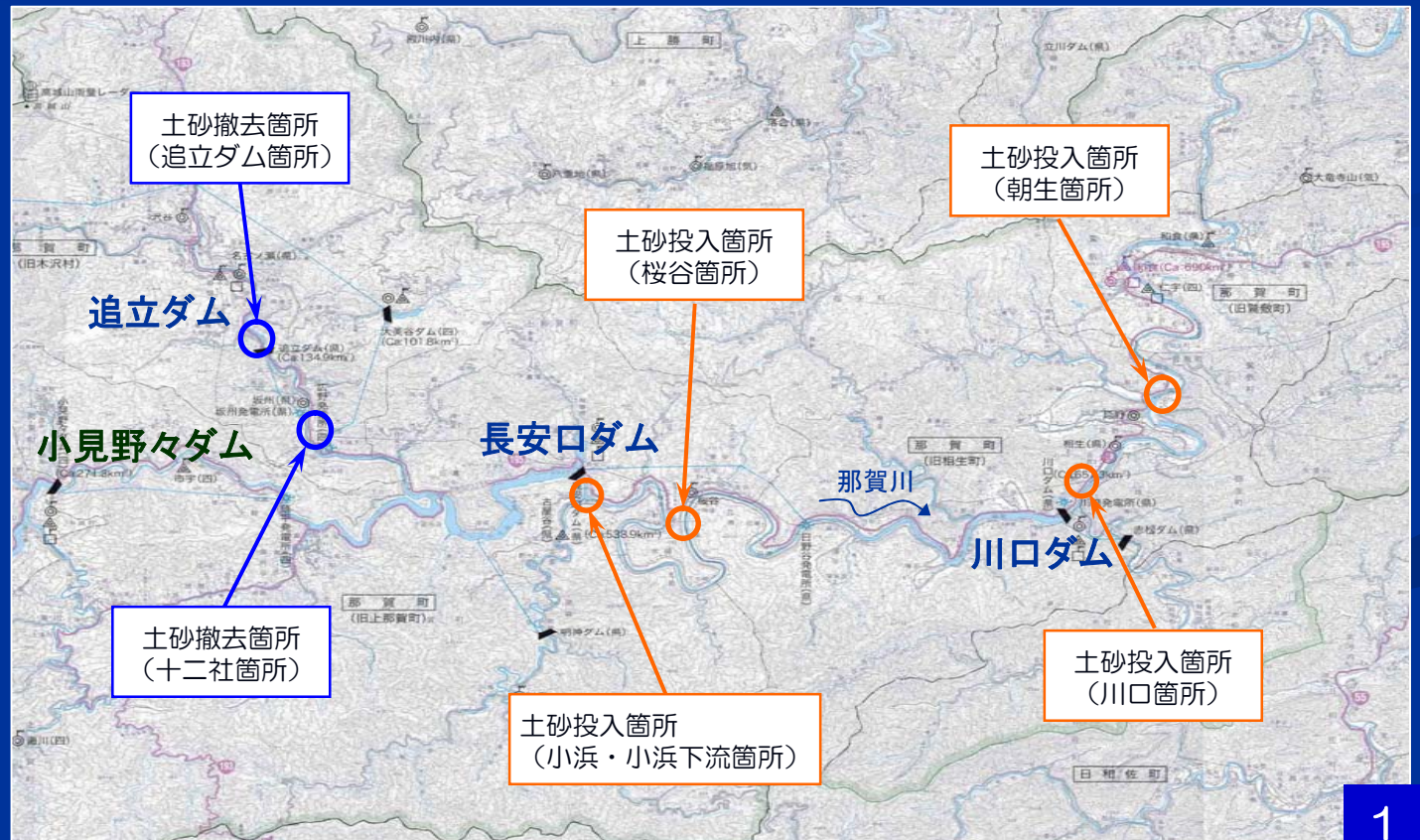
(2) 平成20・21年度の主な実施概要について

平成21年6月

那賀川河川事務所

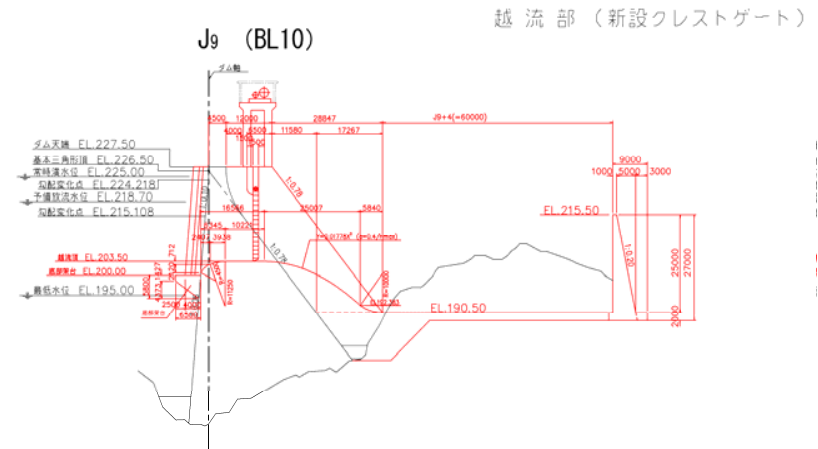
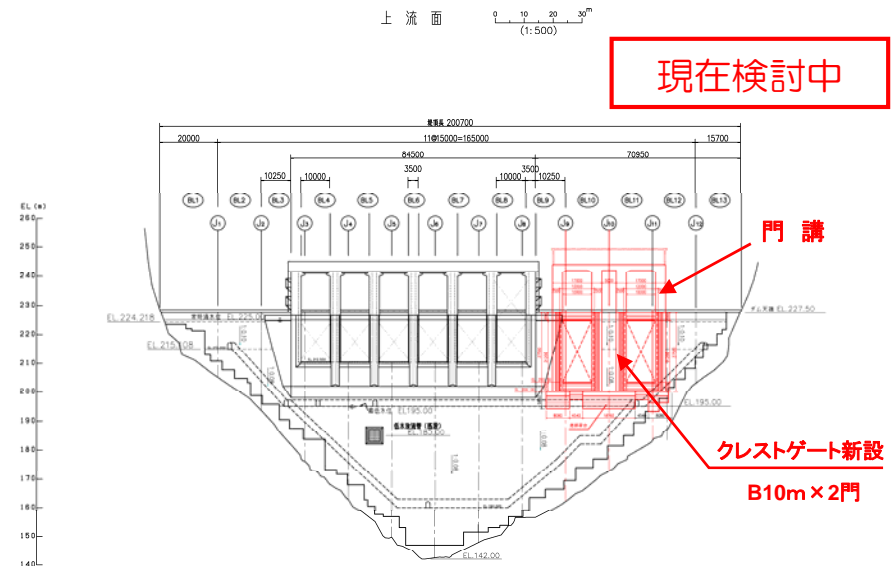
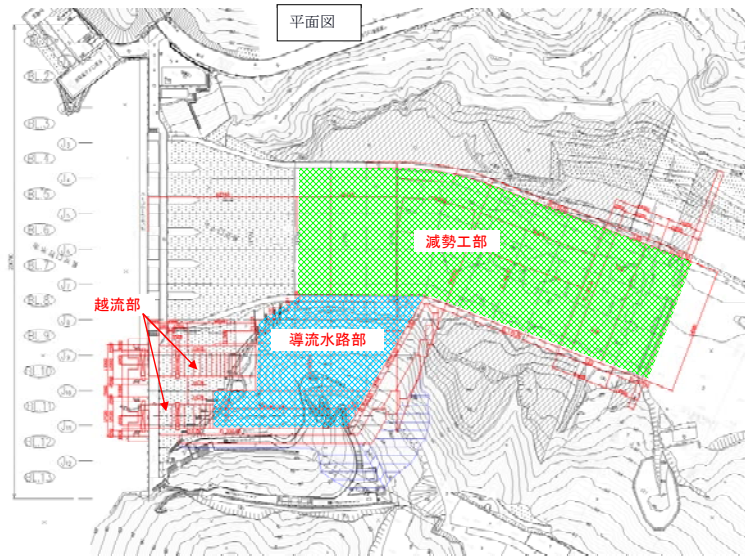
◆堆砂除去工事

堆砂による有効貯水容量の減少を防止する為、長安ロダム上流（十二社・追立ダム）での堆砂除去を行う。



◆施設改造実施設計及び総合評価（委員会運営）

洪水吐（クレストゲート）新設のため構造、仮締切、施工計画の検討を委員会形式で行う。



●長安口ダム施設改造検討分科会

委員

◎京都大学	名誉教授	中川	博次
京都大学 工学部	准教授	角	哲也
(独)土木研究所			
地質監		吉田	等
(独)土木研究所水工研究グループ			
グループ長		阿部	友則
ダム構造物チーム	上席研究員	山口	嘉一
ダム水理チーム	上席研究員	箱石	憲昭
四国地方整備局 河川部	河川部長	森山	裕二
那賀川河川事務所	事務所長	林	重延

専門委員

(財)ダム技術センター			
顧問	(構造等全般)	藤澤	侃彦
理事	(水理)	高須	修二

オブザーバー

国土交通省河川局治水課企画専門官		森川	幹夫
------------------	--	----	----

◎：委員長



- H20年度
 - ・具体的な形状、構造、水理等について検討
 - ・概略設計及び施工計画
 - H21年度
 - ・水理模型実験結果を踏まえた実施設計及び施工計画
 - ・詳細設計
 - ・3回程度開催予定
- H22.3.9 基本設計会議（国交省）

◆ 工事用道路測量設計

洪水吐新設及び減勢工の施工に必要となる工事用道路の測量設計を実施。

現在検討中



◆環境影響評価検討（長安ロダム環境検討委員会）

長安ロダム改造による自然環境や生態系等への影響について予測し必要に応じて保全措置を行う。

委員

河川工学

徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授
徳島大学環境防災研究センター長 ◎岡部 健士
阿南工業高等専門学校 教授 湯城 豊勝

植 物

徳島県植物研究会 会長 木下 寛

鳥 類

徳島市教育委員会 元教育長 小林 寛

魚 類

徳島県立博物館 自然課長 佐藤 陽一

底生動物

水産大学校生物生産学科 准教授 浜野 龍夫

植 物

日本生物教育学会徳島県支部長
徳島県自然保護協会 会長 森本 康滋

昆 虫

徳島県立博物館 学芸員 山田 量崇

水 質

徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 講師
山中 亮一

◎：委員長

第1回 長安ロダム環境検討委員会(H20.12)



●H20年度

- ・事業、地域特性の把握
- ・項目及び調査、予測、評価手法の選定

●H21年度

- ・調査、予測及び評価の実施
- ・環境保全措置の検討
- ・3回程度開催予定

○H22.2.16

基本設計会議環境部会（国交省）

● 周辺環境調査

本体改造（洪水吐増設・減勢工新設・選択取水設備新設）による影響予測を行うために、各種自然環境について、現地調査を実施する。

- ・ 大気環境調査【風向・風速、降下ばいじん、騒音・振動】
- ・ 植物調査【種子植物・シダ植物及び付着藻類】
- ・ 動物調査【哺乳類・両生類・は虫類、猛禽類、魚類・底生動物、陸上昆虫類】
- ・ 生態系調査

降下ばいじん・風向・風速調査



騒音・振動調査



哺乳類・両生類・は虫類調査



猛禽類調査



植物調査



魚類・底生調査



◆洪水吐水理設計（模型製作実験）

新設洪水吐き、洪水吐導流部及び減勢工の形状や放流能力を確認し、実施設計に反映させる為に、水理模型実験を実施する。

○検討対象流量

ダム設計洪水流量 9,200m³/s

計画最大放流量

・河川整備計画対応 5,900m³/s

・基本方針対応 7,400m³/s

洪水調節開始流量

・河川整備計画対応 3,600m³/s

・基本方針対応 5,000m³/s

○模型縮尺

全体模型 1/62.5

越流部抽出模型 1/40程度（予定）

